

千 草 会

題字 原あやめ

■目次

- ひびき合える気持ちを……………1頁
- 学院長からのお願い
山脇ギャラリー展示スケジュール……………2頁
- 卒業生だより……………3頁
- インテリアデザイン科同窓会展……………4頁
- 卒業生ニュース／千草会だより……………5頁
- 在校生の作品紹介／研修旅行……………6・7頁
- オフィスから・アトリエから
学務課より……………8・9頁
- 山脇展のお知らせ
講師・職員移動報告／千草会より……………10頁



16

年号

ひびき合える気持ちを

千草会名誉会長
理事長 原あやめ先生

陽性の梅雨の晴れ間が気分転換をもたらしております。春先からの温度差のはげしい不順な日々、会員の皆様には、お障りなくお過ごしでいらっしゃいましたか。

原あやめ先生は、先日しばらくぶりに出校され、お元気なご様子にお見受けいたしました。何かとお忙しい中、新年度の様子や、新任の若い先生方にも会われ、一時、学院のリズムに戻られたのでは、とお察しいたしました。

ご存じの通り、先生はこの五月のお誕生日に、さらに一つお年を重ねられました。九十三歳になりました。それは、日頃から心がけていらっしゃる先生ご自身の健康管理によるものと思えます。先日、先生がお撮りになられま



原あやめ先生撮影

したお花の写真を拝見させて頂きました。(カラーで見せできなくて残念です)ご覧のように、ピーンと張った伸びやかな葉を重ね合わせたセントポーリアが、淡いピンク、うす紫のお花をつけ、やさしい輝きを見せて、清しく、凛と咲き揃っております。先生のお気持ちに添えて、かわいく並んだその様は、

何か、先生にお話をしていられるように見え、コーラスが聞えてくるようにも思えます。アジアンタムやランなどのお手入れもされ、先生のご丹精ぶりが伺えます。それは健康管理の一助のみではなく、先生とお花のやさしい心のひびき合いであることを見せて頂きました。ともすると薄れがちな忙し^ましない今の世の中、やさしさや思いやりなど、ひびき合える心をもつことを大切にしていきたいと思えます。

平成16年7月 村田節子記

学院長からのお願い



学院長
鈴木正治先生

この近年、日本における教育環境の設備は著しい進歩と発展を遂げております。文部科学省の計画で、子供達は小学校時代から、学校に配備されたPCの操作方法を学び、マウスをクリックするという簡単な操作でインターネットを通して自分の欲しい情報を得ることができ、家に帰れば家庭にあるPCを立ち上げ、メールやチャット等で相互の交遊を楽しむ状況が普通となりつつあります。誠に素晴らしい時代になりました。

然しながら、その反面、危惧とされるのは、PCの操作を覚え、キーボードとマウスを駆使することにより、自分の好む情報が簡単に手に入るとなると、知的成育に最も必要な好奇心が薄らぐこととす。

人類の繁栄は好奇心と探究心にあります。祖先が積み重ねてきた知的な蓄積を次の世代に伝えるプロセスが教育であり、その活動が学習です。故に、学習活動は受動的な部分が多くあります。過去の蓄積を知り、その理解と分析

表現の方法と、そのスタイルとルールを先ず学ばなければなりません。

特に、デザインへの伝習となると、教える側と覚える側の人と人との濃密なふれ合いが必須とされます。PCソフトやマウスプロ化した組織では望みません。少人数制でのみ可能です。

本学院は、創立者山脇敏子先生より受け継がれた原あやめ理事長が一九六〇年(昭和三十五年)就任以来、技術・感覚・人間教育を理念として、学生一人一人の個性を重んじ伸ばして行く為の指導姿勢は、今に受け継がれております。科によって異なりますが、マンツーマンに近い少人数編成は、現在、学生3名に対し、教職員スタッフ71名の比率で、これは専門学校として、特異な存在と申せましょう。

その特色からか、4大卒、短大卒の入学志願者も多くなりつつあります。

卒業生の皆様や、お知り合いの方々のご子弟のご入学により、学院の素晴らしいDNAを伝えたく、願ってやみません。



オアシス中庭 噴水変身
「シンデレラ城の塔」/?
(V D科 想定デッサン作品より)

卒業生だより

「創る喜びをいつまでも」



リビングアート科
昭和59年卒
吉原 美和
(旧姓 赤木)

早いもので、学院を卒業して、20年近く経ちました。

陽当りの良い中庭、絵の具の匂いのある教室、クラスメイトと過ごした日々を懐かしく思い出します。

私が、将来の仕事について、いつの頃からか漠然と感じていたのは、「何か創り出す」、仕事をしたい」ということでした。山脇で多様なカリキュラムの授業を受けたことで、その想いは、一層強くなりました。絵を描く、住居デザインを考える、陶器をつくる...作品の出来については拙いものですが、それでも集中して何かを生み出す作業は、毎回わくわくする楽しさを感じていました。

就職活動の際には、当時インテリアの講師でおられた村上英子先生のアドバイスも頂き、マシオンを扱った企業の設計部に入社。その2年後に今の主人と建築の設計デザイン会社をはじめ、現在に至っています。

仕事は、地元である原宿や青山を中心に、店

「将来、取り組みたい仕事」



ジュウリーアート科
平成16年卒
中山 守

入社して2ヶ月が経ちました。やっと、会社の雰囲気にもなじみ、少し落ち着いて仕事ができるようになってきたところだ。

山脇ギャラリー展示スケジュール

学院・千草会関係

- 7月6日〜7月13日「インテリアデザイン科 千草会
同窓会展」
インテリアデザイン科卒業生
- 8月3日〜8月30日「学生作品展」(学院)
- 10月2日〜10月3日「山脇展」(学院)
- 12月5日〜12月15日「アネハネハ祭園」(学院)
- 平成17年
1月11日〜1月21日「北政刺しゅう展」(千草会)
- 2月15日〜2月17日「卒業・進級制作展」(学院)

●開館6年目を迎えたギャラリーは、各ジャンルで活躍の作家作品展も多く催され、会員の方の個性はもろろん、最近では若い会員のグループ展、在校生のグループ展も活発になってきています。現在のところ外部からの申し込みが多く、嬉しいことに一年先まで予約で埋まるといふ状況です。

今後とも会員の方々のフレッシュな作品展示を願っております。早目のプランで早目の申し込みを。実際に開催日程が決まると、その目標にも後押しされるのは...。グループ展などはお互いに語り合い、刺激し合える良い機会になると思います。ぜひご利用下さい。

山脇ギャラリー担当

この会社は建築用装飾ガラス全般を扱っています。その自社製品のほかに、建築デザイナーの特別注文の作品製作もしています。デザイナーとの打ち合せから、製作、完成への流れを見ることができ、その仕事の大変さ、面白さを知りました。まだ触れることのできない作業ですが、「将来、取り組めるようになりたい」と思うと、ワクワクしてきます。

絵の好きな自分を活かせる職場に就職したいという思いで、山脇に入學しました。その夢の第一歩がなかった今、教室の実習とは違って、これまで経験したことのない仕事をこなしていくためには、仕事の手順を覚え、慣れること、研究しながら、ポイントをしつかり掴むことだと思えます。経験を積んで、アシスタントからメインで仕事ができるようになった時、ミスがしないように、納期に遅れないように、とプレッシャーがかかってくると思います。そのプレッシャーは自分にとって、充実した日々を与えてくれる。ばね になってくれると思います。

仕事についてはかなりの自分の中に、すでに充実感の流れを感じています。1年後、2年後、3年後...今と変らず、むしろ今以上に仕事を楽しんでる自分になりたいと思っています。

ガラスの分野に接することができたのは、山脇の幅広いカリキュラムにありました。そのカリキュラムの修得は、一つ一つ、それぞれの専門職につながっています。自分の経験から云々と、在校生の皆さんにも、早くから職種を限定せずに、広い視野で自分にあった、自分が楽しめる仕事を探して欲しいと思います。

第2回
インテリアデザイン科
同窓会展

2004年 7月6日(火)～7月13日(火)

ID科主任 市村倅子

ID科同窓会展を終えて。
 社会人になり公私共に忙しい為でしょうか、
 社会人になられた方達の出展が、少々、少な
 んで残念でしたが、今、私は嬉しい気持ちで一
 ぱい仕事です。それは山脇で勉強した人達が確
 実に良い仕事をなさっている事です。デイス
 プレーの世界で、空間の世界で、家具の世界
 で、照明の世界で、良い仕事と出合い、
 又、自分の将来を見ずして、黙々と下積み
 の仕事をしながら、作品を出品して下さ
 った事です。インテリアの世界は多岐にわた
 った事で勉強しなければならぬので、2年
 間の課題をこなすだけで、大変で、その大
 変さを乗り越えるエネルギーが、今の皆
 さんを支えていると思います。同窓の皆
 さんを誇りに思っています。
 次回2年後、それぞれの世界で同窓生の
 皆さんが、その仕事の中の広がりや、いかに
 下さるかが楽しみです。皆さんの山脇ギヤ
 ラリーでの、ますます良い作品との出会
 いと再会を楽しみに致しております。
 LA科インテリアコースの皆様も、ぜひ、ご
 参加下さい。皆様のエネルギーも頂けれ
 ば……。

今回の「ID科同窓会展」
 2006年 6月初旬 の予定

卒業生ニュース

2004年 日本ジュエリーアート展 上野の森美術館 2004年6月21日(月)～6月27日(日)

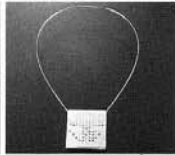
入選 一般部門



正井容子 H8年卒
 プレスレット
 シルバー・ラバー



松田 健 H15年卒
 ネックレス
 シルバー



前原まり子 H16年卒
 ネックレス
 シルバー・ステンレス・
 エナメル

'04年度のJJD A展に下記の方が、
 入選されました。

一般部門 入選 (前回に続いて入選)
 正井容子 シンプルな線状の透し
 松田 健 ドーム型の面に施した
 繊細な透し

学生部門 入選

前原まり子 薄い箱形の透しから透
 けて見えるエナメル画

山脇ギャラリー

●アート展

開催日 平成16年3月13日～19日
 H16年卒デジタルデザイン科

アートとか美術とか、高度なものでなくて
 も楽しめるモノ、人間が根源的に、素直に「面
 白い!」と思えるモノを作って展覧会をしま
 う! アートとは違うから「アート展」!

若さだけを頼りに右往左往しながら、友情
 と根性で妥協を跳ねのけ、現時点での最高の
 ものを表現できたと思います。

展覧会を開催してみて、その難しさ、楽し
 さを実感し、早くも「次はどうする?」「次
 が大事だ!」と話合っています。このような
 大切なファーストステップの場を設けること
 ができ、先生方にとっても感謝しております。

グループ代表 加藤明義



ホームページアニメーション
 加藤明義



アクリル画 佐藤博昭

●ピカン展

開催 平成16年2月2日～10日
 H15年卒ビジュアルデザイン科

「面白そう、楽しそう」という発想から始
 めた展示会で、終わった時は「やっぱり楽し
 かった」の感想を抱きました。しかし、今回
 は作品の楽しさばかりを求め、開催する諸
 準備に気配りが足りなかったため、周囲の方
 にご迷惑をかけてしまいました。

楽しさの表現は作品だけでなく、総合的に
 まとめることの大切さがわかりました。この
 経験を活かして、次はどんな楽しさを見つ
 けられるか? 大人の1年生として、今の楽し
 さ、これから先の楽しさ、を探しながら奮
 闘していきます。ガンバリマス。

グループ代表 佐藤博昭

今回の両グループ展は、本学院の卒業生がグループ代表となり、学外の同好者と協力して、開催。



会場風景



オープニングパーティ



談話のひとつ

平成12年卒 今井 俊文
 今回の出品は、作品の生まれる第一歩、突然
 の「ひらめき」で作ったが、良いモノが出来た
 と思う。「ひらめき」から、粘り強く追求するこ
 とで作品は進化し、加速していくのではないだ
 ろうか。そのプロセスも楽しめるようになれば、
 新しい一つのモノが見えて来ると思う。「ひらめ
 き」も基本と合わせて大切にしたい。
 展示会では、作品について、自分の視点を確
 める機会であり、他人の視線も感じられる、刺
 激的なものである。その場で、互いに語り合っ
 て知り、感じて知る場で次ぎへの挑戦の「きつ
 かけ」の一つになるが、常に考えるということ
 を大切にしていきたいと思っています。

平成14年卒 渡邊 祥太

仕事を始めて2年目、この展示会に「学生時
 代と今の自分の比較」、「在校生との交流を深め
 る」、「二つの目的を持って参加しました。
 「理想を持って物作り」を、と学んでいた学生
 時代と、現実とのギャップを感じたからです。
 今、一番実感していることは「厳しさ」です。
 初歩的な事で通用しないことも沢山あると理解
 していても、正直、それはショックです。
 今回の作品制作は、土曜日教室を借りて、在
 校生と一緒に作業、その交流の中で沢山得るも
 のがあった中で、今の自分を見たこと。生
 意気ですが、今、学べる環境にある在校生の方
 には積極的に、自分の視野を広げ、知識を吸収
 し、身につけて欲しいと思っています。

千草会だより

委員 須水ノブ
 (旧姓河上)

今年の夏は龍巻きや洪水など異常気象の様
 ですが、卒業生の皆様には如何がお過ごし
 ですか。学院前の桜並木の靖国通りは、今は交通の便も
 良くなり、多くのビジネスマンや学生が行き交
 っています。私が通っていました頃は、辺りには
 高い建物はなく、閑静で落ち着いた町並で、
 当時のピロティの校舎は遠くからも望め、堂々
 と誇らしていました。

現在、通りに面した山脇ギャラリーでは、若
 手作家の個展やグループ展が開催され、折りに
 ふれ新しい感性に刺激を受けています。ギヤ
 ラリーのスケジュールにありますが、来年度の一月
 には広岡均子さん(昭和四十六年卒業)の
 北歐刺繍(ハーゲンワーク)の作品展が予
 定されており、かつてイルゼ・ブラッシュ
 先生に教えていただいた事を思い出します。色
 糸刺繍とは違い布目を拾って刺す幾何学模様の
 美しい手法です。広岡さんがどの様に工夫され、
 応用されているか楽しみです。寒い時期ですが、
 是非ご覧下さい。学内廊下の学生作品の展示も、
 先日、新宿坂校舎時代の会員3人揃って、学
 院見学に生まれ、住所変更届も出して頂きまし
 た。この様な機会も、もって頂ければ幸いです。

●若い卒業生の方々へ

転居先不明で会報のとりが多い様です。
 転勤・転職のため住居表示に変更があった場合
 は直ちにお忘れなく学院の窓口にご連絡下さい。
 「会報が届いていない」お友達をご存知の方はお
 知らせ下さい。

●学院へのアクセスは10ページに。

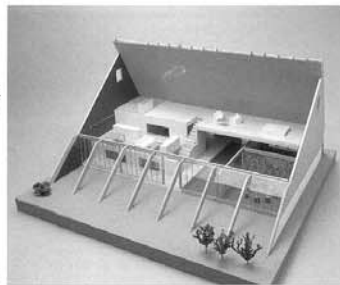
在校生の作品紹介



1

インテリアデザイン科→

1. 住宅・模型
2. パース
(スケッチや図面からルールに従って雰囲気のある絵を描く)
3. インテリア家具
4. インテリア照明



1



2

←ジュウリーアート科

1. ネックレス (シルバー透し)
2. 手かがみ (有線七宝)
3. デザインのプランニング
モデリング実習
4. レンダリング
(デザイン画制作のための技術として、製図法やアイデアスケッチの実習)



3



4



2



3



4

研修旅行

ジュウリーアート科
ニキ美術館見学とガラス体験

那須高原の豊かな自然に包まれた、ニキ美術館。ニキ・ド・サンファルの不思議な造形の強烈な刺激……と、ガラス実習体験の熱い研修の旅でした。

ニキ美術館



ガラス実習体験

参考館内の
工房を望む



参考館で民芸の心に触れ、浸りながら実測実習。掃除機を帯に持ちかえて、ぞうきんがけをしながら、木造家屋の温もりを味わいました。

参考館のお掃除



一泊研修旅行 各科別に

インテリアデザイン科
益子参考館見学と実測実習

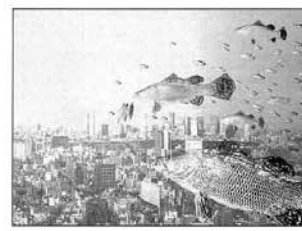
在校生の作品紹介



←ビジュアルデザイン科

1. 版画
2. プロダクトパターン
3. 絵本
4. グラフィックデザイン
(色彩の表現と構成力を学ぶ)

1



1



2

デジタルデザイン科→

1. 2DCG
(オリジナル空間の制作)
2. 2DCG実習
3. 3DCG
アニメーション
4. 想定デザイン
(イメージの強化)

3



3



4



4

平成16年5月20日・21日

ビジュアルデザイン科
水戸芸術館見学と笠間焼体験



電神大吊り橋

現代美術センター、世界で活躍するアーティストの映像・絵画・インスタレーションなどを鑑賞、次は野外へ電神ダムにかけられた大吊橋の上で深呼吸!!



水戸芸術館

「彫刻は野外の芸術」と云ったムーアの作品が新緑に映え、ピカソ館では版画やオブジェなど見学、箱根焼も体験。

ヘンリー・ムーア
ブロンズ像



やきもの体験
(笠間焼)



彫刻の森美術館



研修旅行

デジタルデザイン科
彫刻の森美術館見学と箱根焼体験

オフィスから・アトリエから

服飾コース コスチュームデザイン科 昭和47年卒



ファッション画講師

(株) ニュートン 前田美奈子 (旧経緯地) 在学中、多くの先生方にご指導を頂いたことを、懐かし思い出します。卒業後もデザイン画の勉強を続け、一時、オートクチュール店で、デザイナーのアシスタントを経験。その後、大手素材メーカー研究所に入社、その10年間で今の仕事の基礎となりました。ファッションの世界でも単に服を作るだけでなく、多くの消費者を想定した「幅広い商品企画・市場開拓・販売戦略」が不可欠、当時の私にとっては全く未知の世界でした。素材・デザイン企画の厳しさを知り、マーケット戦略のプロ達の仕事に圧倒されながらも、徐々に「企画の面白さ」にのめり込んでいきました。

現在は主人と共に会社を設立。様々な分野の企画全般に関わる仕事をしており、クライアントは多種多様な。消費の仕事も発生しますが、常に「消費者の今の志向」に視点をおいて、チャレンジしていきたいと思っています。何時か何処かで、若い会員の方と仕事上でお会いするかも、と思うと期待が膨らみます。

リビングコース リビングアート科 平成4年卒



インテリア関係会社勤務 小幡桐子 海外旅行で見たゴシック様式やロマネスクの教会建築を、この目で見た時、山脇を卒業後、他の分野の勉強をしていた私は、一気に建築や美術に興味を湧き、引き込まれました。これは、いろいろな角度から見る事ができたのだと感じ、やはりデザインに関する仕事を：と思いました。

インテリア関係の仕事に就きましたが、室内装飾の奥深さを知らされ、色彩感覚の大切さも痛感。先ず色彩を基本から学びなおし、今はカラーコーディネーターとして、少し幅を広げる事ができましたように思っています。現在の会社では、社のパンフレットの制作などもあり、幅広く仕事をこなしております。

市ヶ谷を通ると、学生の頃、課題をこなし、提出するという日々であった事を思い出します。ご指導下さった先生方のお声や笑顔、時には悪いお顔なども……。

平成16年度体験入学等のご案内 就職について

平成16年度の体験入学・説明会の日程が決定しましたので、ご案内致します。昨年の体験入学・説明会・見学の参加者は、延べ330人にも達し、出願者の9割の方が、いづれかに参加されました。学校の雰囲気・学科内容等を知っていただく絶好の機会となっております。デザイナー・クリエーターを目指す方がいらっしゃいましたら、山脇の体験入学・説明会への参加を、是非お勧め下さい。参加希望、資料請求については、学務課までご連絡下さい。

お問い合わせ・お申し込み先 TEL03-3264-4020

体験入学	学校説明会	学校見学
第1回 7月25日(日)	第1回 5月22日(土)	月曜日～土曜日
第2回 7月31日(土)	第2回 6月19日(土)	(休校日を除く毎日)
第3回 8月7日(土)	第3回 7月17日(土)	※事前連絡不要
第4回 8月18日(水)	第4回 8月15日(日)	
第5回 8月22日(日)	第5回 8月28日(土)	
第6回 8月25日(水)	第6回 9月18日(土)	
第7回 11月28日(日)	第7回 10月23日(土)	
	第8回 11月20日(土)	
	第9回 12月11日(土)	
	平成17年	
	第10回 1月22日(土)	
	※要予約	
実施時間 13:00～16:30 (受付) 12:30	実施時間 (1日2回) 第1回 10:30～12:00 第2回 13:30～15:00	受付時間 月～金 10:00～16:00 土 10:00～14:00

雇用環境は僅かながら回復してまいりましたが、その影響はデザイン業界の新卒採用までまだ届いておりません。昨今では、社会における仕事の意義の変化や、雇用形態、職業の多様化が進み、学生も様々な不安や悩みを抱えております。しかし、仕事を通して得られる、労働の楽しみや、社会参加の素晴らしさに期待し、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先 (平成十六年三月卒業生)
 (株)アトビーズ、(株)ジュエリー小島、(株)エルネージュ、オーケー(株)生田ス
 テンドクラス、キザワ・ジェイ・エム(株)、(有)タレオ、(株)ケイ・ウツ、(株)
 シーズ・スリー、(株)タフ・クリエイティブ、テンプロス(株)、(株)ワンゴジュウゴ
 ●千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。
 (03-3264-4020) 学務課 就職指導担当

オフィスから・アトリエから

会員の皆様の活動など、卒業生だよりや「卒業生ニュース」で、お伝えしておりますが、学院も新しい学科組織になって10年余、現在の各科会員の活動を、少しでも多く、お伝えできれば……と、「職場だより」として特集してみました。

ビジュアルデザイン科 平成14年卒 デジタルデザイン科 平成15年卒



景山真貴 偶然、子供の頃、よく読んでいた本をみて、その後ずっと思いつくこともなかつた子供の頃の感触が急に、そのまま戻ってきた感じが、とても嬉しかった時描いた一枚のイラストを見て下さった編集者の方が、「一緒に絵本を作りましょう」と云って下さったことからでした。

最初は、私の発想で、小さな村の一面、なかなか話の方向が固まらず、担当者の方と意見交換をしながら、やっと、まとめることができ、終る頃にはちょっと淋しい気持ちになりました。これからはずっつと子供の本に関わっていきたくです。



川又葉子 イラストレーター 入学前、夢に見た「絵に携っていく」を目ざして、と思っていた私に、卒業後、ほぼフリーの仕事をする機会がありました。それは、困った時、相談する相手もなく、調子を崩しても手伝ってくれる仲間もなく、交渉も、確認も、すべて自力。自己管理の世界で決して器用ではない私は、事あるごとに迷惑をかけた事も多々あります。その体験は貴重な経験だと感じています。いつか、それ等を生かし、より自分らしく、世の中に還元できる様に頑張っていこうと思っています。今の1年間はDD科の助手としてフリーの仕事は中断中ですが、この経験も、プラスになることと思っています。

ジュエリーアート科 平成14年卒 インテリアデザイン科 平成11年卒



(株)ケイ・ウノ クラフト課 オーダーメイド ブライダルジュエリー



インテリア ショップ 責任者

ジュエリーワーカー 渡辺真由美 入社して3年目、現在は加工担当として、お客様のご希望に応えたデザイン画、設計図をもとに、世界に一つのジュエリーを製作しています。完成までには、パーツの取り付け、石留めなどの作業でまともですが、プラチナ、ゴールドなど扱う素材も様々、石の種類も多様です。納期に納めることが大変ですが、出来上がった時、お客様の喜びの声を頂いた時、嬉しく、励まされます。初期工程から完成までの担当は、学院で学んだ技術を活かし、技術向上の場になって、これまで以上に技術を磨き、競う毎日を楽しみたいと思っています。

インテリアコーディネーター 岡本勇気 将来は「インテリアコーディネーター」を目標にして学び、念願通り入社できました。最初の仕事は商品の検品、梱包作業の毎日です。その間、仕事の内容を掴むこともでき、店長という重要な仕事も任せられるようになりました。神戸新店の店長として転勤、これは新鮮で貴重な経験でした。

仕事をしていく上で、二つ決めていることがあります。「仕事は楽しく」、「3年後の自分を考える行動をすることです。ショップの責任者として、コーディネートやレイアウトプランの他に、裏方作業もあり、月末には棚卸しなど、朝から晩まで働いていますが、しっかりと、目的意識をもって、作業効率もよく、忙しい仕事も、楽しくやっています。

山協展のお知らせ

山協展 10月2日(土) 3日(日) 10時より

山協展を間近に控えて、日頃の学習の成果を発表すると共に、会場全体を盛りあげようと、学生達の意欲も日ごとに高まっているようです。昨年は、J A科一年生の民族をテーマにした「ジュウリーショー」が「あやめ賞」(イベント優秀賞)を獲得、そのオリジナリティ溢れる美しいボディジュウリーは、来場者の心を魅了している様に見えました。又、I D科一年生のカフェ「カラズ」は、「今と昔」をテーマに、一つの部屋を二つの異なった空間に創りあげました。その他、V D科は、ちよっとしたアイディアのお楽しみコーナーを、D D科は趣向を凝らした映像を楽しむイベントを催し、活気溢れる山協展となりました。

今年も、楽しいイベントを多数用意しているようです。ご家族、お友達をお誘いいただき、お出かけ下さい。お待ちしております。

学内会員 神山美奈子



I D科 玄関装飾
テーマ中国



D D科
映像グループ



V D科 パフェ屋さん



J A科
ショー

講師・職員移動報告

●退職された先生
インテリアデザイン科

野口朝夫先生 インテリアデザイン

樋口 誠先生 空間構成

デジタルデザイン科

大矢貴広先生 C G概論&プログラミング

井上朱美先生 プランニング

ジュウリーアート科

内田敏樹先生 ガラス実習

職員

鈴木真寿美先生 ビジュアルデザイン科助手

小島春花先生 デジタルデザイン科助手

中村佳世先生 ジュウリーアート科助手

長い間ご指導ありがとうございました。

●就任された先生
デジタルデザイン科

島津克代子先生 プランニング

(平成15年10月より)

ジュウリーアート科

沼田恵美子先生 ガラス実習 集中講義

職員

横森京樹先生 ビジュアルデザイン科助手

北山恵美先生 ビジュアルデザイン科助手

川又葉子先生 デジタルデザイン科助手

任 梨沙先生 ジュウリーアート科助手

千草会より

●山協式ボディは「キイヤ」さんへ

デザイナー科卒業の矢城由美子様より、山協式ボディ購入について問い合わせがあり、取り合えず「キイヤ」さんを紹介、ご本人が直接問い合わせられたところ、「今でも、時々、依頼があるので注文があれば、お作りしています」ということで、注文できましたとのこと。今でも作られていることに、懐かしく、嬉しく思いました。

●アクセス JR総武線の他に

地下鉄 東京メトロ線(有楽町線・南北線)

都営線 (新宿線)

学院へは「A2」出口が便利です。

発行 山協美術専門学院同窓会

〒102・0074

東京都千代田区九段南4・8・21

電話 03・3264・4020